

# SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。



さいたま市立

## 指扇北小学校



本校は、学校教育目標をあかるく（思いやりがあり、前向きにとらえる子）かしこく（進んで学習し、よく考えて正しく判断できる子）たくましく（元気に活動し、根気よくがんばる子）とし「確かな学力」と「体力」の向上が図れる学校を目指している。また、地域に根ざした信頼される学校を目指し、保護者・地域・教職員が連携し、日々の教育活動を進めている。



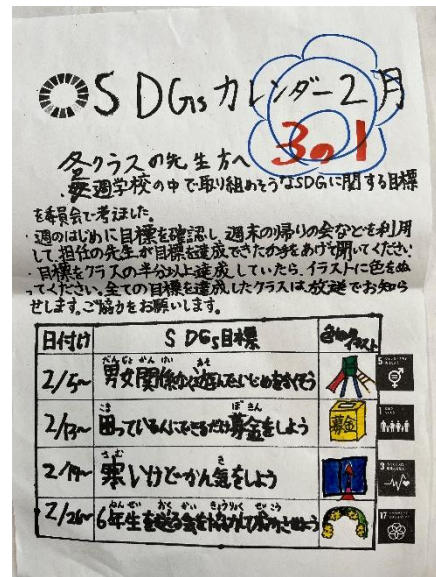
■所在地：さいたま市西区中釘1506-1 ■電話：048-622-4131  
 ■FAX：048-622-2358 ■交通：JR川越線西大宮駅徒歩30分

### 01 SDGsへの関心を高める「SDGsカレンダー」



令和5年度は、SDGs委員会の児童と話し合い、「SDGsへの関心を高めよう」という目標を掲げてスタートした。まず、SDGsのことを知ってもらうためには、どのような取組が必要かを話し合ったところ、「全ての目標を一度に意識するのは難しい」「無理なく取り組める内容にしたい」「学校の中で全クラスが取り組めるものにしたい」等の意見があがった。

そうした意見を基に毎月「SDGsカレンダー」を作成し、全学年で取り組むことにした。SDGs委員会が考えた目標を一週間ごとに設定し、目標をクラス児童の半分以上が達成していたら、SDGsカレンダーに色をぬる方法をとった。学校の生活目標と関連付けたり、時節に合わせた目標を設定したりと、工夫を凝らしてきた。委員会児童が月末に回収して集計し、目標を達成した学級を校内放送で発表することで取組への意欲を高めた。



### 02 福祉に対する意識を高めるための年3回の募金活動



本校では、学期に1回の募金活動を通して、福祉に対する意識を高めている。1学期「緑の羽根募金」、2学期「赤い羽根募金」、3学期「ユニセフ募金」を行い、一週間の期間を設けて取り組んだ。

募金について協力をお願いした文書を活用して募金袋を作れるようにしたり、児童が作成したポスターを縮小して募金袋の表紙デザインになるように工夫したりした。また、募金額を校内放送で報告することで児童もやりがいを感じて取り組んでいた。

また、令和5年度は、近隣の中学校とも連携し、能登半島地震への募金も行った。

